

授業改善プラン

地域名	葛南教育事務所	学校名	市川市立下貝塚中学校
-----	---------	-----	------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 全国平均正答率を下回っている。
- 特に「読むこと」と「書くこと」に課題がみられ、読んで考えたことを文章に書いてまとめることが苦手な生徒が多くいることが現状である。また、自分の知識や経験と結び付ける書き方がわからない生徒もいる。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 国語科を中心に、文章を書く時や、文章を読んで考えをもつ時のポイントを生徒が理解しやすくするために少人数指導を導入すること、記述や対話をする場面を授業の中に多く取り入れることで、学力が向上するであろう。

3. 具体的な実践

- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、指導計画を立てた。
- 『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』4つの過程を意識して計画した。
- 生徒の実態を踏まえて「学習のてびき」を作成した。
- 学習状況の記録用紙を工夫し、主体的な取り組みを促した。

4. 成果

- 『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』に沿った検証授業の実践により、生徒の主体的な学びを引き出すことができた。
- 実態を踏まえた「学習のてびき」の作成により、生徒全員が活動に取り組むことができた。
- 学習の記録を工夫したことにより、生徒の学習状況が把握でき、必要な支援、指導をすることができた。

◆担当指導主事から（葛南教育事務所 指導主事 長門 亮）

- 『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』を意識した計画を立てていた。
- 生徒の実態と教師の願いを踏まえた見本や手引きの冊子など、工夫が多岐にわたっている。
- 全国学力・学習状況調査の結果を活用できていた。
- 考えの「広がり」だけでなく「深まり」を目指すことに難しさがあった。